

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学 期 末 試 験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容の理解度を、穴埋め問題と論述式問題とを併用して評価する。 ・筆記試験と小テストの結果を合わせて、次の到達レベルをもって評価の基準とする。 ・疾病の成因、症状、診断、治療方法に関する質問の90%以上に正しく解答できる。・・・S ・同じく80～89%に正しく解答できる。・・・A ・同じく70～79%に正しく解答できる。・・・B ・同じく60～69%に正しく解答できる。・・・C ・Cのレベルに達していない。・・・F
				②	✓	
学修成果	平 常 評 価	小テスト	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の要点の理解・記憶を、毎回の授業の冒頭に小テスト（穴埋め問題10問）を実施して評価する。
				②	✓	
学修成果	平 常 評 価	レポート	0	①		
				②		
学修成果	平 常 評 価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①		
				②		
学修行動	平 常 評 価	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> （主体性） ・将来、栄養士になって社会に貢献するために、積極的に学ぶことができるようになる。 （実行力） ・計画的に学習し、知識を蓄積することができる。 （課題発見力） ・授業を通して疾病の予防における栄養学的課題を発見することができる。 （創造力） ・授業を通して疾病の予防に関する自分の考えを創り出すことができる。 （傾聴力） ・授業に集中し、内容を理解し、要点を記録することができる。 （発信力） ・教員からの質問に対し、的確に、他の受講者にも分かるように解答することができる。 （規律性） ・遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 （ストレスコントロール力） ・授業に伴うストレスに対し、計画的学習によりコーピングすることができる。
				②	✓	
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) の基準： 授業で取り上げた疾病の原因、病態、診断、栄養との関わりを説明することができる。</p> <p>A (優) の基準： 授業で取り上げた疾病の原因、病態、栄養との関わりを説明することができる。</p>	<p>B (良) の基準： 授業で取り上げた疾病の原因、栄養との関わりを説明することができる。</p> <p>C (可) の基準： 授業で取り上げた疾病の栄養との関わりを説明することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	日本における疾病罹患状況と一次・二次・三次予防対策について学ぶ。	講義	小テストで正答率60%以上。	予習： 疾病予防に何が必要か、列挙しておく。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	栄養と疾病との関わりについて学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第2週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	細胞と組織の病的変化、とくに炎症、免疫、変性、腫瘍について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第3週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	ビタミンの欠乏症と過剰症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第4週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	ミネラルの欠乏症と過剰症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第5週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	糖尿病、とくに糖代謝とその異常について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第6週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	糖尿病、とくに合併症、診断、食事療法について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第7週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	脂質異常症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第8週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	高尿酸血症と先天性代謝異常について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第9週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	高血圧について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第10週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	消化器疾患、とくに胃十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、潰瘍性大腸炎について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第11週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	肝臓・胆嚢・膵臓の疾患、とくに肝炎、胆石症、膵炎について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第12週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ウイルス、細菌、真菌による感染症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第13週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	①脳血管疾患、とくに脳出血、脳梗塞について学ぶ。②認知症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第14週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	心身へのストレスによる健康障害とその予防	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第15週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、定期試験で解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力